

中学校区で取り組む 魅力ある学校づくり

リセットではなく**レポート**を
中学0年生ではなく**小学7年生**の取組を

不登校の新規数と継続数 取組の視点は全く異なる

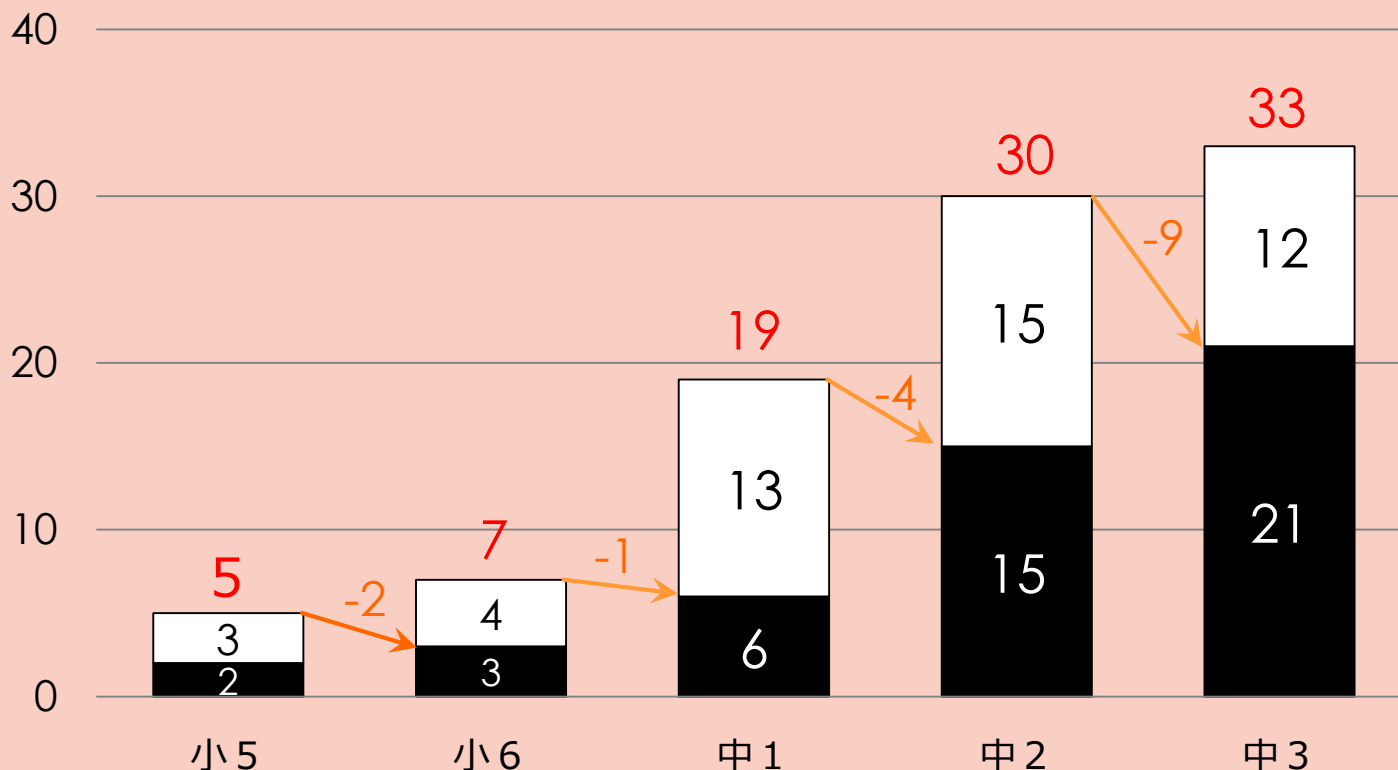
新規数・前年度は不登校で
なかつた児童生徒数

中1～中3のどの学年も、新規数が10数人(12～15人)が計上されているのは、同じである。

継続数・前年度も不登校で
あつた児童生徒数

小6(7人)→中1(6人), 中1(19人)→中2(15人), 中2(30人)→中3(21人)。学校復帰は中1で1人、中2で4人、中3で9人とばらついている。

千人率



教員が共通理解をすべきこと

なぜ、ア～エで、課題を分析し、目標を設定するのか。
意識調査は何を教えてくれるのか。

意識調査

意識調査（様式）

【共通質問項目】

※ア～クの項目の表現は修正しない。ア～エについては順序変更可。
※校区の実情に合わせて、ひらがなやルビ等を工夫。

現在の学校生活について、あなたはどのように感じていますか。当てはまるものを右の1から4の中から一つずつ選び、その番号に○を付けてください。

ア	学校が楽しい	1	2	3	4
イ	みんなで何かをするのは楽しい	1	2	3	4
ウ	授業に主体的に取り組んでいる	1	2	3	4
エ	授業がよくわかる	1	2	3	4

〈中学校版〉

4月【※実施時期に応じて9月、1月に変更】になってから今までに、次のようなことを、この学校の生徒からされたり、反対にこの学校の生徒にしたりしましたか。当てはまるものを右の1から4の中から一つずつ選び、その番号に○を付けてください。

オ	叩かれたり、けられたり、強く押されたりした（暴力を受けた）	1	2	3	4
カ	暴力ではないが、いじわるをされたり、いやな思いをさせられたりした	1	2	3	4
キ	叩いたり、けったり、強く押したりした（暴力をふるった）	1	2	3	4
ク	暴力ではないが、いじわるをしたり、いやな思いをさせたりした	1	2	3	4

〈小学校版〉

4月【※実施時期に応じて9月、1月に変更】になってから今までに、次のようなことを、この学校のだれか（お友だち）からされたり、反対にこの学校のだれか（お友だち）にしたりしましたか。当てはまるものを右の1から4の中から一つずつ選び、その番号に○を付けてください。

オ	叩かれたり、けられたり、強く押されたりした（暴力を受けた）	1	2	3	4
カ	暴力ではないが、いじわるをされたり、いやな思いをさせられたりした	1	2	3	4
キ	叩いたり、けったり、強く押したりした（暴力をふるった）	1	2	3	4
ク	暴力ではないが、いじわるをしたり、いやな思いをさせたりした	1	2	3	4

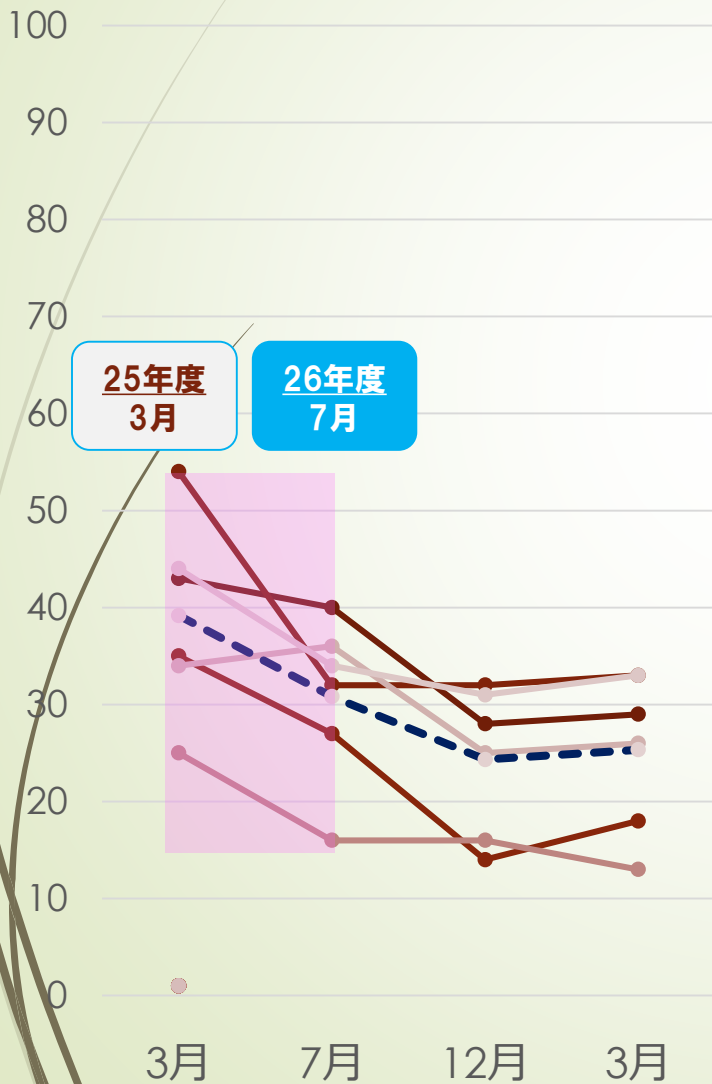
- ア 学校が楽しい
- イ みんなで何かをするのは楽しい
- ウ 授業に主体的に取り組んでいる
- エ 授業がよくわかる
- オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした（暴力を受けた）
- カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、いやな思いをさせられた
- キ 叩いたり、けったり、強く押したりした（暴力をふるった）
- ク 暴力ではないが、いじわるをしたりいやな思いをさせた

4件法

- 1 あてはまる
- 2 どちらかといえば あてはまる
- 3 どちらかといえば あてはまらない
- 4 あてはまらない

工「授業がよくわかる」「あてはまる」の向上を目標とした6地域 小6→中1の割合の推移 (%)

25年度3月 ▶ 26年度7・12・3月調査



そろえる内容

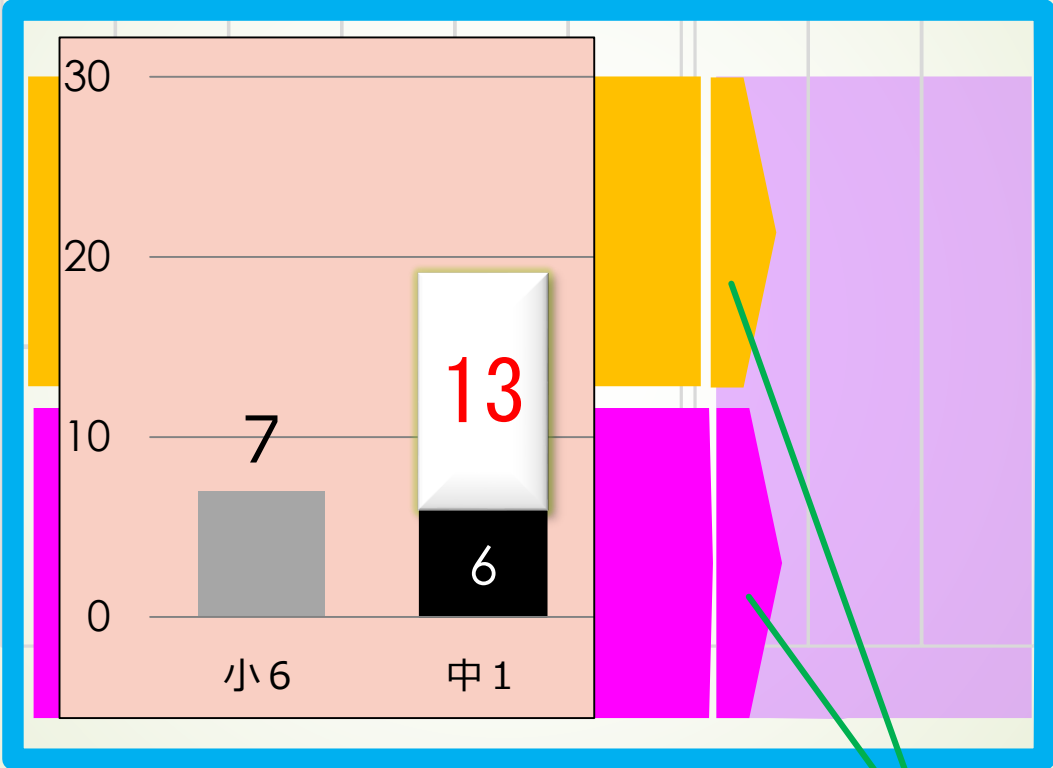
居場所づくり

頑張ってきたことがそのまま認められる喜びを、中1でのやりがいにつなげる。 ☆の場合、中1の4～7月は項目イ・エを意識した取組を取り入れることが大切。

小1 小2 小3 小4 小5 小6 中1 中2 中3

A小
★項目ウ
☆項目イ

B小
★項目ウ
☆項目エ



C中
★項目ウ
☆項目ウ



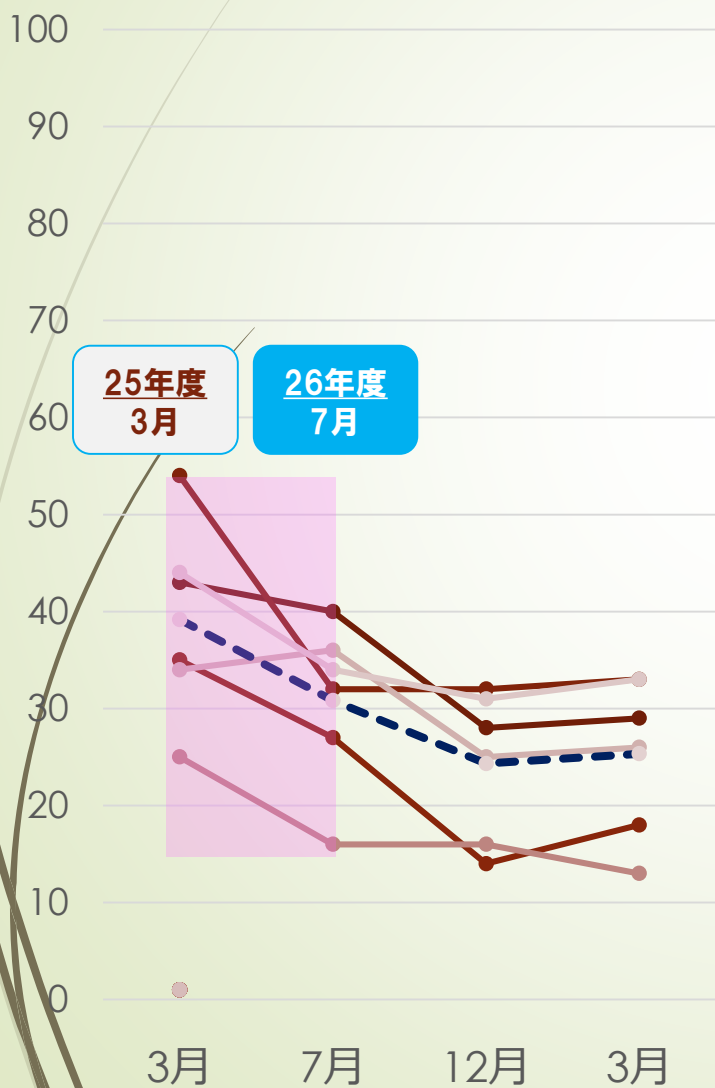
あえて そろえない内容

絆づくり

中1の夏休みまでの激変は、小学校時代に培った絆で乗り越える。 ☆の場合、中1の4～7月は項目イ・エを意識した取組を取り入れることが大切。

工「授業がよくわかる」「あてはまる」の向上を目標とした6地域 小6→中1の割合の推移 (%)

25年度3月 ▶ 26年度7・12・3月調査



26年度3月 ▶ 27年度7・12・3月調査

